



**豊田通商株式会社**

本社 名古屋市中村区名駅四丁目9番8号 従業員数 単体 3,485名  
 (出向者を含み、受入出向者を除く)  
 創立 1948年7月1日 連結 58,565名  
 代表者 取締役社長 貸谷 伊知郎 \*いずれも2019年3月末時点  
 資本金 649億3千6百万円 U R L <http://www.toyota-tsusho.com/>

トヨタグループ唯一の総合商社。金属、グローバル部品・ロジスティクス、自動車、機械・エネルギー・プラントプロジェクト、化学品・エレクトロニクス、食料・生活産業本部、アフリカ本部の7つの営業本部で幅広い事業領域をグローバルに展開。ビジネスを通じて新たな価値の創造と、豊かな社会づくりへの貢献を推進している。

## Zoom導入でコミュニケーション改革と働き方改革の推進を加速

トヨタグループの総合商社としてグローバルで幅広い事業を展開する豊田通商株式会社（以下、豊田通商）。今回、同社はコミュニケーション改革と働き方改革の推進を目的として、クラウドベースのビデオ会議ソリューション Zoom を導入した。社外はもちろん海外とも、そして PC やスマートフォンで、場所やデバイスを問わないコミュニケーションが実現した。

会議システム設置率



「Zoomは、従来のコミュニケーション課題に対する“置き換え”ではなく、“補完”と“増強”ツールです」

豊田通商株式会社  
IT戦略部 部長  
清野 耕司氏

背景・課題

デジタル技術を活用した“会話できる場づくり”はIT部門の重要なミッション

人と会話して物事を前に進める、縦・横・斜めのコミュニケーションという言葉が飛び交う弊社の企業文化なので、デジタル技術を活用した「会話できる場づくり」は、IT部門の重要なミッションの1つとなっています。

しかし、TV会議システムが設置されている会議室が少なく、利用したくても空いていない、リモコンによる操作や多拠点との同時接続が面倒といった課題がありました。デジタルライゼーションの観点でも、プライベートではスマートフォンやSNSなどで容易にコミュニケーションが取れる中、仕事ではなぜそれができないのかというシンプルな要求が社員の中でありました。

そこで今回、インターネット経由で外出先や自宅から、PCやスマートフォンで、端末を選ばずどこからでも接続できるZoomを導入しました。Zoomはこれまでのコミュニケーションの不便を補い、バリエーションを増強させるツールです。

評価・展望

今後はAIを活用した新たなサービスで、更なるコミュニケーションの活性化を

NECネットエスアイは、Zoomの企業導入実績が豊富で、確実に社内にも根付くところまでサポートいただきました。

現在は多拠点でのミーティングが開催しやすくなり、コミュニケーション活性化と共に移動コスト削減にもつながっています。働き方改革の観点では、在宅勤務でも社内の仲間と顔を見て、資料を共有しながら臨場感の高い打ち合わせが可能となり、従業員の満足度にも貢献しています。

今後は既存のTV会議システムを、システム更改のタイミングでZoomに移行していく予定です。加えて近い将来、会議内容がテキスト化される議事録作成の自動化や自動翻訳など、AIを活用した新たなサービスとも連携していきたいと考えています。



豊田通商株式会社  
IT戦略部 インフラグループ  
グループリーダー 北川 英弘氏

豊田通商株式会社  
IT戦略部 インフラグループ  
部長補 早瀬 嘉彦氏

豊田通商株式会社  
IT戦略部 インフラグループ  
課長補 能見 研一郎氏

「Zoomはコミュニケーションの不便さを解消し、  
これができるいいのに、を実現するツールです」

## 目指す姿とZoom選定理由

### ■ 会議の「段取り」を効率化したかった

「目指したのはコミュニケーション改革。中でも会議を変えたかった。会議の中身を変えることは難しいですが、段取りは変えられます。Zoomの導入によって、会議室の予約、多拠点との接続、資料共有によるペーパーレス化など、事前の段取りが大きく効率化しました。」(北川氏)

### ■ 汎用機器の組み合わせで運用効率性が向上

「トライアルで利用してみて、ミーティングIDだけ伝えれば直感的に誰とでもつながることができる操作性が気に入りました。画質や音質などの品質面も、他社Web会議サービスと比較して非常に優れていました。また、高額の専用機器を導入して自社で保守をする従来型と違い、汎用製品を組み合わせることで展開が速く、故障時にも修理で数週間使えないといったことがなくなり、運用の安定性も向上しています。」(早瀬氏)

## 導入プロセス

### ■ クラウドサービスならではのスピード感

「今回のプロジェクトは検討から利用開始まで半年弱と、異例の短期間でした。特に要望が高かった会議室への大型モニターの設置を先行させ、機器選定と検証、そしてある程度、運用ルールを固めてすぐに利用開始しました。このスピード感は、クラウドサービスならではのメリットです。」(北川氏)

### ■ トライアンドエラーで使いながら細部を詰める

「企業利用のITはこれまで導入が慎重で展開まで時間がかかるものでしたが、今回は発想を変えてトライアンドエラーで使ってみながら細部を詰める方式を採用しました。インフラ提供の幅が広がった実感があります。」(能見氏)

### ■ セキュリティはユーザ自身で意識

「セキュリティはユーザ自身が意識することも重要です。制限を設けて使えなくするのではなく、現実の活用の中で守るべきところはしっかり守る、という運用方法を定めていくのが、今どきのやり方だと思います。」(早瀬氏)

## 導入効果

### ■ 圧倒的な展開の速さに驚きの声

「これまでのツールとは異なる大きな反響がありました。会議室常設の端末のほか、PCやスマートフォンなどの身近な端末で利用できることが普及要因ではないでしょうか。使いやすさに加えて、圧倒的な展開の速さにも驚きの声がありました。」(能見氏)

### ■ 海外との接続で期待以上の効果

「新たなツールを導入すると、社員教育や研修、サポートに負荷がかかるものですが、いまはインターネットで検索して自学で情報を収集する時代なので、SaaSをそのまま利用した方が自己解決できることも多く、結果としてサポート工数が削減できました。さらに中国やエジプト、中東など、これまでWeb会議の接続品質に苦労したエリアとも高品質で会議開催できるようになり、期待以上の効果がありました。また、治安の良くない国の駐在員と会議を行う際、時差の関係で遅い時間までオフィスにいるのは危険が伴います。Zoomであればデバイスや場所を選ばないため、自宅からでも参加できるなど、働き方を変えるツールだと思います。」(早瀬氏)

## 今後の展開

### ■ 働き方改革での共創を期待

「NECネットエスアイにはトライアルから構築、運用サポートに至るまで、フレキシブルに、スピード感を持って対応いただけて満足しています。クラウドサービスは日々、バージョンアップがなされ機能が追加されていきます。それとどのように向き合うか、上手な運用方法などの情報提供をいただきたい。これからも働き方改革、業務効率化の向上に向けて貢献していただけたらと期待しています」(北川氏)

この事例についてもっと詳しく知りたい方はこちら  
このリーフレットは抜粋版です。  
Webサイトに全文が掲載されています。



コントロール端末

## ビジュアルコミュニケーション ZOOM

- 誰でも使える簡単操作
- モバイル回線でも高品質
- マルチデバイス、簡単接続



<https://www.nesic.co.jp/zoom/>

Zoom Roomsセット一式  
(ディスプレイ、PC、マイクスピーカー、  
コントロール端末)

お問い合わせは、下記のNECネットエスアイへ

ビジネスデザイン統括本部  
エンパワードオフィス推進本部  
TEL : 03-6699-7502 (ダイヤルイン) / FAX : 03-6699-7904  
E-mail : si-cafe@dm.nesic.com  
<https://www.nesic.co.jp/>

※記載されている会社名、サービス名、商品名は、各社の商標または登録商標です。  
※記載内容は2019年7月現在のものです。予告なく変更する場合がございます。